

**上小阿仁村教育委員会**  
**点検・評価報告書**  
(平成29年度対象事業)

平成30年8月

**上小阿仁村教育委員会**

**【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）**

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## I 点検・評価の趣旨、実施方法等

### 1. 点検・評価の趣旨

上小阿仁村教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の趣旨にのっとり、開かれた教育行政を推進するために、平成29年度事業について学識経験者の知見を活用した点検及び評価を実施し、報告書にまとめました。

この「点検・評価報告書」は、議会に提出するとともに、点検及び評価の内容に基づき、事業や施策の改善を図りながら、今後のより効率的で適正な事業の執行に資するものとしします。

### 2. 点検・評価の対象

平成29年度に実施している事業や施策のうち、教育委員会の年間活動状況と、総務学校班・生涯学習班の課題や目標として定めた事業について点検及び評価を行いました。

事業の選定にあたっては、活動内容の精選に努め、重点項目として点検・評価の対象としました。

### 3. 学識経験者の知見の活用

上小阿仁村教育委員会では、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、「上小阿仁村教育委員会評価委員会」を設置しており、点検及び評価の客観性の確保に努めています。

### 4. 点検・評価の実施方法

事業や施策の評価表に基づき、教育委員と事務局担当班等による事業や施策の検証と自己評価を実施するとともに、上小阿仁村教育委員会評価委員から意見及び評価をいただきました。

### 5. 「報告書」の作成計画

- ① 教育委員会に関する事務の点検及び評価の内容について協議
- ② 教育委員及び事務局担当班等による事業と施策に対する自己評価
- ③ 評価委員会において、意見・評価について協議
- ④ 評価委員会の意見・評価を加えて、「報告書」を作成
- ⑤ 教育委員会8月定例会で、「報告書」について議決
- ⑥ 「報告書」を9月議会へ提出

## II 点検・評価の結果

### 1. 教育委員会（教育委員会の点検・評価と評価委員の意見・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

◎ 教育委員会（教育委員に係わる内容）の年間活動状況			
活動内容－1	総合教育会議・教育委員会会議の開催状況	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>（教育委員会会議） 月1回定期的に開催され、学校や村内外の行事、近況、動向が報告され、その内容について質疑応答も十分なされた。</p> <p>（総合教育会議） 村の教育に関する意見交換が行われたが、今後、小中併設校としてより特色を生かした学校と成り得るよう、話し合いを重ね内容を充実させたい。村の方向性を確認する上でも必要であると思う。</p> <p>（課題等） 総合教育会議は、まだまだ形式的であり、報告よりも具体的な意見交換や協議ができるような場にするべきである。 第1回目の会議で提案された内容についての回答があまり無かったように思われる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>教育委員会会議については、質疑応答も十分なされたとのことであり、評価できる。</p> <p>総合教育会議については、形式的であるということなので、会議の内容について、考える必要があるのではないか。</p>		
活動内容－2	教育大綱・教育行政全体構想の策定	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>教育大綱・教育行政全体構想のもと、目標とする教育の達成に努めたい。</p> <p>（課題等） 教育情勢や児童生徒の状況の変化に伴い、必要に応じて内容を検討すればよいのではないか。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>教育大綱・教育行政全体構想により、村の教育を進めてもらいたい。内容については、状況の変化に応じて変更が必要ではないか。</p>		

◎ 教育委員会（教育委員に係わる内容）の年間活動状況

活動内容－3	教育環境の整備と学校支援の推進	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>教育環境整備はもとより、生活サポーター、学校支援コーディネーターの配置及び学校ボランティアの協力体制などの人的支援、また、高校生の海外研修、イングリッシュキャンプ、ふるさと体験学習等への経済的支援等十分であると思う。</p> <p>教育環境整備の対応は良好と考える。学校支援は住民の理解が厚く、活動が活発である。</p> <p>（課題等）</p> <p>村のふるさと教育、キャリア教育の目標とする姿を明確にし、地域の連携と理解を深める必要があるものと考えている。</p> <p>地域からの支援活動はとても充実していると思うが、一方で無関心な方が多いのも現実だと思う。学校から地域へという働きかけは活動も多いため難しいとは思いますが、保護者を巻き込んでの活動があればいろいろな方々が少しずつ興味をもち次に繋がって行くのではないかと。</p> <p>児童の減少によりスポーツ少年団の活動が困難になりゆく現状である。指導体制も含めて運営方法や方向性等についての検討の必要が認められる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>教育環境の整備、人的支援や経済的支援は十分であり評価できる。今後も教育環境の整備に努めてほしい。</p>		
活動内容－4	上小阿仁村「教育集会」の開催	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>村の教育に携わる関係者が会する唯一の機会であり、会話を交わすことは相互理解を深める意味でも有効である。また、先生方とのコミュニケーションを深めるよい機会ともなっている。</p> <p>実施の意義や内容の充実などと構えると、なかなか難しく堅苦しくなるのではないかと。あまり負担のかからない集会だからこそ、普段耳にできないことが聞けることもあると思う。</p> <p>（課題等）</p> <p>貴重な機会なので、更に有意義なものにするためにも、教育集会の持ち方について関係者（保護者や教員等）から一度意見を聞いてみることも必要ではないかと。</p> <p>村の方向性や教育について、保護者、学校、役場関係者を交えての、提案、実行、結果の出るような話し合いをしてみるのはいかがでしょうか。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>村の教育に携わる関係者が一堂に集う機会であり、開催については評価できる。</p> <p>内容については、マンネリ化しないよう考える必要があるのではないかと。</p>		

◎ 教育委員会（教育委員に係わる内容）の年間活動状況

活動内容－５	教育委員に係わる研修の充実	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>全県、東北大会の研修に、教育委員全員での参加を目標とし研修を重ねることは有意義であり、委員の結束も高まるものと考えます。</p> <p>県のグループ別協議会に参加する機会を与えられた。その準備・発表では大変難儀をしたが、いろいろな方の考えや発表を聞き勉強になった。難しい面も多々あるが、意識の向上には欠かせないと思う。</p> <p>（課題等）</p> <p>小中学校の次期学習指導要領の改定案も昨年公表されたので、できれば定例会議で時間に余裕のできたときに、その内容について教えていただきたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>全県、東北大会の研修に全員で参加し研修していることは、評価できる。今後も継続して参加し、意識の向上を図ってほしい。</p>		
活動内容－６	学校訪問等による教育状況の掌握と激励	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>年２回の学校訪問により、児童生徒の様子や活動の姿を見ることができ、その成長ぶりを実感することができた。</p> <p>体育祭、学校祭、こあに発表会での伝統の発表力は健在であり、たくましさを感じた。</p> <p>上級生が下級生の面倒をよくみており、小中一緒になって盛り上げようとする気持ちがよく表れていた。</p> <p>部活動においては、小規模校ながら、団体・個人種目共に好成績をあげるなど、その頑張りは見事である。</p> <p>終業式での児童生徒の学期の反省と長期休業期間の目標発表に立ち会い、児童生徒に発表の機会を設けることは能力を伸ばす意味において有効であると感じた。更なる発表力の向上に期待したい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>学校訪問等によって、教育現場の状況を掌握することは大切であり、評価できる。</p> <p>今後も機会を設けて、学校を訪問し学校の状況把握に努めてほしい。</p>		

## 2. 学 校 教 育（学校と事務局担当班の点検・評価と評価委員の意見・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

(事業名)『特色ある教育活動』の推進			
活動内容－1	郷土芸能の伝承活動（小4～中3）	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>今年度も小4から中3までの63名が「小沢田駒踊り」「大林獅子踊り」「八木沢番楽」に取り組んだ。7月5日から学校祭当日の10月5日まで、全10回の練習には、毎回地域の方々が来校して教えてくださった。児童生徒も一生懸命に活動する姿が見られた。中学生へのアンケートでは、この活動（「村を知る」活動）を通して上小阿仁の良さを感じ取ることができたと肯定的な回答をした生徒がほとんど（100%）となっている。他校には見られない特色のある活動となっており今後も継続していきたい。生徒からは、「村には伝統的な素晴らしいものがあることを再認識した。」「村の良さ（人の温かさ）などを改めて感じた。」などの感想があった。</p> <p>継承のために動画、楽譜、台詞、衣装写真などを整備し、確実に次の担当者に引き継げる体制を作りたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>年々継承が困難になっていく中、村の良さを感じ取ることができていて活動の成果がみられる。途絶えない体制づくりを確実なものにしてほしい。</p>		

活動内容－２	農園・花壇活動（小中学校全校児童生徒）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>今年度も、小学生が学年ごとや縦割り班ごとに学校農園や学校田（清水博司氏所有）での農作物の栽培、稲作に取り組んだ。学校農園では、各学年とも生活科や理科・こあに学習などに関連する作物を栽培。村の特産物であるほおずきをはじめ、サツマイモなどがナベッコ活動や給食で提供され、全校児童生徒が収穫の喜びを味わうことができた。また、稲作は、田植えから稲刈り・きりたんぼ作りまで学習をし、こあに発表会でも「田んぼの学習」として発表。収穫した米は10周年記念事業のひとつとして村内2カ所で感謝の気持ちをこめて配布活動を行うなど充実した内容となった。「花いっぱい運動」では、中学生は「地域の方々が訪問した時に喜んでもらえるような花壇をつくる」という思いを持って取り組んだ。小学生は10周年記念事業として村の重要な資源である杉を使ったこあびょんプランターを作成し、山野草を入れて地域の福祉施設（高齢者・幼児）等へ寄贈。作成や寄贈の過程において多くの人とかかわり、感謝の気持ちを伝え、地域へ貢献する喜びを味わうことができた。年間を通して、村を知り多くの人とかかわりながら心を豊かに育む重要な活動のひとつとして大きな成果をあげることができたといえる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>前年度の課題を踏まえ、工夫しながら地域貢献へと活動内容を高めることができている。</p>		



活動内容－3	海辺の町宿泊体験学習（小学校）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○4～5年生 八峰町での宿泊体験学習（1泊2日） 「しらかみ体験センター」でのシーカヤックや海水浴、漁師の料理体験等の海の活動に加え、昨年度の反省を生かし、メニューに変化を持たせ二ツ森登山も行った。天候に恵まれ、海と山両方の豊かな自然体験活動を満喫することができた。次年度も2年間のくり返しの中でも螺旋的に活動内容を高めていけるよう配慮していく。</p> <p>○6年生 函館修学旅行と大沼公園宿泊体験（2泊3日） 函館での自然や文化遺産にふれる学習に大沼町での体験学習が加えられ、充実した活動になった。大沼国定公園では、カヌーや森林ウォークラリーなど湖や森林などの雄大な自然や友達とのふれあいを通して、その尊さを学び、他を思いやる心と態度を育むことができた。また、こあに学習のまとめとして制作・持参した村のガイドブックの配布・PR活動なども行われ、村を外から見直す機会と共に村の良さを発信する機会ともなった。次年度は、地域の人や児童との関わりといった視点もとり入れ、いっそうの充実を図りたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>村では体験できない活動を取り入れ、こあに学習のまとめとしての成果もみられる。今後もより一層の工夫をした体験学習であってほしい。</p>		

活動内容－４	小学校本物体験・芸術鑑賞（小１～小６）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>男鹿水族館での海の生き物のいのちを感じる体験活動</p> <p>○小学校本物体験 海の生き物・水族館学習（男鹿水族館G A O）（小１～小６） 全校児童による男鹿水族館G A Oでの海の生き物・水族館学習を実施。水族館で多種多様な海の生き物を実際に見たり観察したりする体験を通し、本物の迫力や魅力を知り、生物への興味関心や愛護の気持ちを育むことができた。</p> <p>また、高学年は、ふるさとキャリア教育として、動物園で働く人（海獣医さんや飼育員さん）へのインタビューを行い、働くことの大切さや役割を知るとともに、いろいろな職業があることに興味をもつことができた。次年度は、大館少年自然の家での野外体験活動と創作活動を予定。</p> <p>○小学校芸術体験教室 県教委の事業である「秋田県青少年劇場」でミュージカル「オズの魔法使い」を実施。（全経費の三割負担）。ミュージカルは初めてという子どもたちが多かったが、名曲「虹の彼方に」をはじめとした心躍る歌や踊りと共に繰り広げられる感動の舞台にぐんぐんひきこまれ、魅了された。本格的なミュージカルに生でふれ、鑑賞することで、児童生徒の音楽に対する感性を育てると共に、豊かな情操を養うことができた。今年度は、小中合同の「先輩に学ぶ集会」と連動させた、「田中まさよし氏」演奏鑑賞を想定している。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>毎年、変化をもたせながら工夫を凝らした体験学習・活動が行われている。貴重な本物体験を充実させていってほしい。</p>		

活動内容－5	外から村を見る宿泊体験学習（中学校）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○中1 県庁所在地での宿泊体験学習 → 秋田市・男鹿市 秋田市「ユースパル」に宿泊しながら、男鹿市と秋田市の施設の見学及び体験活動を実施した。水族館では、バックヤードの見学を取り入れたりしながら「いのちの教育」に関連させた体験活動も行うことができた。これらの活動を通して、上小阿仁村のよさや特徴を再発見するとともに、郷土に対する理解を深めさせることができた。</p> <p>○中2 近隣の県での宿泊体験学習 → 青森県弘前市 今年の活動を引き継ぎ、弘前市のねぶた村やJA相馬村で体験学習を行った。また、弘前市内では班ごとに事前に計画した班別自主研修を行った。夕食を自炊活動にしたり、りんご農園の花摘み活動を取り入れたりしながら毎年改善を図りながら計画している。これらの活動を通して、弘前市と村の文化の違いに気付かせることができた。昨年と同様に村の自然の多さに改めて気付いたという生徒が多くいた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>宿泊体験も含めて、ねらいに沿った学習活動が展開されている。村のよさや特徴を再発見するなど、村について考えるよい機会となっている。</p>		
活動内容－6	中学生本物体験（中1～中3）	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>○中学生本物体験 康楽館と尾去沢鉱山見学（中1～中3） 今年度は、日本最古の芝居小屋で国重要文化財でもある康楽館の施設見学と、常打芝居の鑑賞を通し、古くから伝わる日本の伝統や文化の良さに触れることができた。 また、史跡尾去沢鉱山の坑道見学を通して、往時の秋田の繁栄の一端を垣間見ることができた。 実施時期が11月と遅く、受験を控えた3年生もいたため事前事後の学習が不十分であったかもしれない。 30年度は、スケート体験を計画している。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>一過性の体験にならないようにするためには、事前事後の学習が欠かせない。成果をあげるための改善点を明確にとらえ、実施計画に反映させてほしい。</p>		

活動内容－7	先輩に学ぶ集会（小学校）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○先輩に学ぶ体験学習 山野草栽培園訪問学習 3年児童 村の花「コアニチドリ」で代表される山野草栽培の山形正雄氏を講師に、山野草栽培園を訪問学習。コアニチドリをはじめとした山野草栽培の話を教えていただくことができ、山野草に身近に触れ、美しさや希少価値を感じるとる貴重な体験となった。</p> <p>○先輩に学ぶ集会 南沢集落元気村の取り組みに学ぶ 5・6年児童 南沢集落会長伊藤信義氏を講師に6月「南沢集落フィールドワーク」10月「南沢栗林での収穫体験」3月「南沢集落元気村の取り組みの講話～（先輩に学ぶ授業）」と3回わたり実施。集落で管理する栗山での栗の収穫、栗やクルミなどの首都圏への販売、東成瀬村の椿台地域との交流といった活動を通して南沢地域の絆が深まっていった経緯を、地域活力創造課より提供していただいた資料をもとに学習を重ねたことで、急激な高齢化が進む上小阿仁村の中にあっても地域活性化のための高齢者たちの取り組みがなされてることを知ることができた。新しい視点で「村を知る」ことができ、次年度の学習や地域貢献への思いを膨らませる良い機会となった。</p> <p>○先輩に学ぶ学習 「ココロの授業」（道徳）6年児童 今年度も大館市のファミリーネットワークの村岡昇氏を講師に、「ココロの授業」三回にわたって実施。自分自身の心を見つめ、自尊感情や自己有用感高めていくにはどうしたらよいのかを考え、最後の授業で夢をもち続けやり続けたことで夢を叶えた方々を紹介してもらいながら、夢をもつことの大切さを学んだ。卒業を間近に控えた6年生児童の中学校生活に向かう意識や意欲を明るく前向きに高め、自他を大切にしようとしていく心と生きる心とを育むことができた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>先輩に学ぶ体験・集会・学習を通して、それぞれのねらいを達成することができた。系統立てた年次計画により、一層の成果を期待したい。</p>		

活動内容－8	先輩に学ぶ集会（中学生）	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>今年度は7月に、本校卒業生である大館鳳鳴高校と秋田北鷹高校の3年生2名に来てもらい、進路の決定に関することや高校生活について話をしてもらった。身近な先輩の話ということもあり、どの生徒も真剣に話を聞いていた。また、生徒からの質問も多く、高校生活への関心の高さと同時に先輩の姿を見て学ぶべき点が多数あったと思われる。集会前半部分は、高校説明会も併せて開催しているので効果が上がったと思う。</p> <p>11月に予定していた本村出身の県会議員との語る会は、講師の都合で中止となった。講師への依頼については、関係者との調整を図りながら進めていきたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>先輩の姿から学び、自己の進路選択を考えるよい機会となっている。</p> <p>予定していた本村出身の県会議員との語る会が中止となったことは残念である。是非実現してほしい。</p>		

（事業名）学校支援地域本部事業

活 動 内 容	地域の人材活用と教育活動の充実・交流の拡大	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○支援事業に対する理解の深まりと支援内容の充実</p> <p>今年度も、延べ百数十名にもものぼる学校支援ボランティアによる様々な教育活動支援（学習支援・環境整備支援・登下校安全指導・体験交流活動）が実施され、多大な参加と協力を得ている。地域コーディネーターとの連携がその機能を十分果たしており、長年の実績に支えられた活動により、地域や保護者・支援ボランティアに事業の目的や実施している内容が理解され、ねらいに応じて支援内容を工夫するなど事業に対する理解の深まりと支援内容の充実が図られ、成果をあげることができた。</p> <p>○支援内容の拡充</p> <p>地域の人財を活用した日常の教科の授業支援や、10周年記念事業を核とした全校での取り組み等、新しい視点での支援内容の拡充を図ることができた。活動内容を広げていくことで、ふるさとへの愛着や誇りを高め、次年度の学習や地域貢献への思いを膨らませる良い機会となった。今後も地域・保護者と一体になった活動内容の一層の充実をさらに図っていきたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>地域コーディネーターとの連携が十分に機能を果たし、活動のねらいが達成できている。</p>		

(事業名) 学校生活サポート事業

活動内容	生活サポート員の配置と指導の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>今年度も昨年に引き続き、学級支援のため、小学校に3人を配置した。子どもの実態に応じ、クラスの枠を超えて弾力的に子ども達を支援することができ、学校生活の安定を図ることができた。</p> <p>特別に支援を要する児童については、関係機関の指導を仰ぎ、サポート員と学級担任が連携しながら、支援を要する児童一人一人のよさや個性をよりよく伸ばすための効果的な支援を行ってきた。当該児童のみならず配置学級全体において著しい変容・成長が見られる。サポート員配置の成果が大きく現れているといえる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>特別な支援を要する児童生徒は全国的にも年々増加し、学校現場では喫緊の課題の一つである。今後も生活サポート員の配置と指導の充実に図り、また特別支援教育のより一層の充実に期待する。</p>		

(事業名) 外国青年招致事業

活動内容	NETを効果的に活用した小・中学校の外国語活動と英語指導の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>小学校の英語活動と中学校の英語において、母国語が英語であるNETの授業(TT)を受けることで、実際の英語の発音や学習活動に子ども達が生き生きと意欲的に取り組んでいる。国際理解といった視点でも、子ども達によい影響を与えている。</p> <p>小学校においては、小学校1～4年生の外国語活動の時間をこれまでの2倍程度確保し、1～6年生まで、「聞くこと」「話すこと」に加え、単語や英文を「読むこと」「書くこと」も取り入れるなど32年度からの外国語教育導入に向けてスムーズな移行がなされるよう、準備が着々と進んでいる。</p> <p>中学校においては英語教諭とのTT学習で、授業のほぼ全部を英語で行うことができ、生きた英語に間近に触れることができている。外国語学習への意欲・関心が高まり、県学習状況調査、全国学力学習状況調査では県平均を上回る結果につながっている。今年度2度目のイングリッシュキャンプを実施したことも、外国語学習への意欲・関心の向上につながっている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>NETの効果的活用による成果が十分に上がっている。新学習指導要領完全実施に向けても、遺漏のない準備を進めてほしい。</p>		

(事業名) 低学年における指導者を要請した水泳指導の充実

活動内容	小学校1・2年生対象の水泳教室の開催	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>小学校1・2年生の児童を対象に、初歩的・基本的な泳ぎ方を身に付けさせるために、3名の指導者を要請し水泳指導の充実を図った。昨年に引き続き4年目の開催となり、14名(3年生1名参加)の子ども達が参加。指導者から個々の技能に応じたていねいな指導を受け、楽しみながら意欲的に取り組むことができた。</p> <p>今年は災害のため1日だけの開催となってしまいましたが、見違えるように上達し、基本的な泳ぎ方を身に付けるとともに、他の泳ぎ方にも挑戦するなど多くの成果が見られた。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>幼少期ほど専門的な指導が重要であることを踏まえ、さらにはこれらの教育の一環としても継続が望まれる。</p>		

(事業名) 校舎等改修補修工事事業

活動内容	校舎の改修工事等による安全で快適な学習・生活環境の整備	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>音楽室エアコン設置工事、小学校・中学校各教室の床改修工事、体育館渡り廊下の防水工事を行っていただいた。音楽室の夏の暑さは大変なものであったので生徒や教師も授業や部活動に集中できるようになった。順次各教室等へエアコンを設置していただきたい。</p> <p>ただ、体育館渡り廊下の防水工事は、風向きによって雨漏りが発生するので改善していただくとありがたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>施設設備の充実が教育効果には欠かせないので、より安全で快適な学習・生活環境の整備に努めていってほしい。</p>		

### 3. 社会教育（社会教育委員会と事務局担当班の点検・評価と評価委員の意見・評価）

※ 達成度について

A（達成している） B（概ね達成している） C（達成していない）

(事業名) 青年層の生涯学習ボランティア活動の推進			
活動内容－1	公民館行事への中高校生・青年層の参加促進	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>○かみこあに太鼓フェス 2017 への参加 ○若者交流会の開催</p> <p>昨年度初開催された太鼓フェスについて今年度も企画開催したところ、鼓響を含む 9 団体の出演があり、多くの青年層の活躍により、活気ある演奏会となった。</p> <p>村内の青年活動の活性化を促進するため、30 歳未満の若者による交流会を開催した。村内外から 12 名の参加があり、講師から過去の青年活動の様子等を聞くとともに、今後の活動について意見を交わし交流を深めた。交流会に参加したメンバーで公民館行事へ参加するなど、定期的な活動ができるよう活動を支援したい。</p> <p>高校生になると村行事への関わりが減少するため、村内の高校生に興味を持ってもらえるような企画が求められる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>青年層の公民館行事への参加奨励は評価できるが、若者交流会参加者が活動できるよう支援していただきたい。</p>		
活動内容－2	高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>○秋田北鷹高校書道部による書道パフォーマンス（体育の日） ○ミニかまくらづくりへのボランティア参加</p> <p>体育の日記念行事のイベントとして秋田北鷹高校書道部による書道パフォーマンスを披露していただいた。村内出身の高校生も 1 名在籍しており、迫力あるパフォーマンスで来場者を魅了していた。</p> <p>高校生ボランティアとしてミニかまくらづくりへの参加を呼び掛けたところ、男子高校生 3 名の参加があった。ミニかまくらづくりの他、雪像作りなど大いに活躍していただいた。</p> <p>村内に高校が無いため、高校生との関わり方は非常に難しいが、様々な切り口からボランティア活動や公民館行事に参加してもらうよう呼び掛けを継続したい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>これからも北鷹高校書道部などが体育の日記念行事に参加するように、根気よく参加を呼び掛けていただきたい。評価できる。</p>		



(事業名) 高齢化社会に対応した生涯学習の充実

活動内容－1	主体的な活動を目指す かみこあに大学の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○かみこあに大学          〈内容〉 ・開講式 ・英語学習 ・小学校交流会 (英語・昔遊び)          ・わら細工体験 ・移動教室 (角館樺細工伝承館)          ・映画鑑賞会 ・新春学習交流会          ・物づくり体験 ・修了式</p> <p>名称変更して2年目となる「かみこあに大学」は申込者数に大幅な変化は無かったが、内容は初開催のものが多く、活発な活動となった。</p> <p>5月開講式では英語学習に取り組み、翌月の小学校交流会では実際に英語授業に参加し更に学びを深めた。また、7月と8月にはわら細工に挑戦するなど、複数回関連性のある学習を展開することができた。</p> <p>1月の新春学習交流会では北秋田市合川、森吉、阿仁地区の高齢者大学と交流することができ、他地区の大学活動を知る良い機会となった。</p> <p>依然として参加者数は少ない傾向となっているため、引き続き年齢層にあった学習内容、体験活動を企画し、多くの村民へ参加していただくよう努める必要がある。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>学生と学長、職員が一体となり大学を運営し、英語の学習や移動研修など幅広い学習活動をしており、また高齢者の交流と仲間づくりの場でもあり、評価できる。</p>		
活動内容－2	豊かな体験や知識・技術・特技を生かす場の拡充	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○絵手紙初心者向け講座                      ○囲碁大会 (お盆・新春)          ○サルサ初心者教室                              ○ミニかまくらづくり          ○郷土料理教室 (奨励員事業)</p> <p>絵手紙講座を5年前から指導して頂いた作山キヌ氏 (北秋田市) より、今年度は辞退したいとの申し出があったため、講座開催が危惧されたが、絵手紙サークルの紹介で新たな講師 (男鹿市 遠藤康子氏) を見つけることができた。講師が変わり新たに初心者教室という形式で講座を開催したところ、男性を含む数名の新規参加があった。</p> <p>住民ニーズに即した公民館講座を開催するため、平成28年から広報等を利用して定期的に要望を募集していたところ、今年度はサルサ教室 (踊り) の開催希望があった。全2回のスケジュールで開催をしたところ参加者から好評であったため、次年度の開催に向けて検討をしたい。</p> <p>講座実施の際は村外から講師を招くことが多いが、村内在住者でも特技や郷土文化などに精通している方はいると思われるため、地域人材がもつ豊かな経験や知識等を生かせる場を増やせるよう努める必要がある。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>広報かみこあにの「生涯学習センターだより」を活用した各種講座の開設は、評価できる。</p>		

(事業名) 学社連携の充実

活動内容	世代間交流事業の推進	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>○体育の日記念行事 ○ミニかまくらづくり</p> <p>体育の日記念行事やミニかまくらづくりは、子どもから大人まで多くの方が参加できる世代間交流事業となっている。課題としては中学生、高校生の参加が少ないため、ボランティアとしての参加を要請するなど、学校とも連携して参加者を増やし、地域と学生が交流できる場となるよう取り組みたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>記述している行事は、世代間交流として好評であり継続していただきたい。</p>		

(事業名) 生涯読書の充実

活動内容	読書の推進や、読み聞かせ機会の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○学習週間での図書館イベント</p> <p>○ひよこの会（未就学児交流会）での読み聞かせや出張図書館</p> <p>○読書ボランティアによる保育園、小学校での読み聞かせ</p> <p>○保健師と連携した地域での読み聞かせ（回想法）</p> <p>幼少期から本へ親しみを持ってもらうように、親子で参加出来る図書館工作イベントや、ひよこの会での読み聞かせ等を実施している。保育園や小学校にも積極的に読み聞かせボランティアが訪問し、読書活動を推進している。</p> <p>また、保健師事業の地区巡回に同行し、地域の方へ読み聞かせ（回想法）をするなど、一般の方にも本へ親しみをもっといただくよう取り組んでいる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	<p>読書ボランティアの積極的な活動と関係職員の努力は評価できるが、図書購入予算を検討していただきたい。</p>		

(事業名) 生涯学習推進体制の充実

活動内容－1	各種委員（社会教育委員・生涯学習奨励員等）の役割の明確化と研修の充実	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○かみこあに太鼓フェス 2017 前年度に引き続き開催された「かみこあに太鼓フェス 2017」は年度当初から芸能公演部会を中心に企画、準備、運営をしていただいた。社会教育委員の事業評価においても継続実施を希望する意見が出されたため、次年度についても開催を検討したい。</p> <p>生涯学習奨励員については各々の得意分野を生かして活動するとともに、北秋地区生涯学習奨励員協議会の研修参加や子ども対象の郷土料理体験教室を開催するなど、多方面で活躍をしている。</p> <p>その他図書館協議会による子ども読書推進計画の策定や、文芸美術部会の協力による学習週間展示、文化財保護審議会及び郷土資料部会合同での研修会など、各委員が各々の役割を果たしている。</p>		
評価委員の 意見・評価等	各種委員の役割は明確化されており、委員が役割を果たしていることは評価できる。		
活動内容－2	高校生海外研修事業の実施	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市への高校生海外研修事業も2年目になり、大きな成果を上げることができた。公共のバスを使用して市内研修をするなど内容にも工夫を加えた。</p> <p>今年度は高校生4名と引率者2名による実施で、中学校の先生にも研修をかねて参加していただいた。学習発表会や記念文集でその様子を報告している。</p> <p>この研修をきっかけにして、高校生がさらに英語を学び、国際理解を進めることを期待している。さらには将来村を担う人材に成長してほしいと思う。</p>		
評価委員の 意見・評価等	評価できる。引き続き実施していただきたい。		

(事業名) 人材の発掘と積極的な活用

活動内容－1	新たな地域人材の発掘と活用（学校支援ボランティアなど）	達成度	B
点検・評価 （課題等）	<p>○高橋章子絵画展 ○学校支援ボランティア</p> <p>住民からの情報提供をきっかけに、図書館に寄贈された絵画集から、本村大林出身の高橋章子氏（秋田市）と連絡をとることができ、生涯学習センター初の絵画展を開催することができた。男鹿の鵜の崎海岸をモチーフにした美しい作品の数々が、約1ヶ月の展示期間中に訪れた多くの人を魅了した。高橋氏ご夫妻には準備から期間中の絵画説明など、全般に渡りご尽力いただいた。</p> <p>学校支援ボランティアについては、地域コーディネーターが名簿を整備し学校と地域の橋渡しとなっている。毎年協力してくださるボランティアは定着しているが、地域には隠れた人材やボランティアに協力したいと考えている方がまだいる可能性もあるため、社会教育事業と併せ、幅広い声かけや人材発掘が今後の課題となる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	高橋章子絵画展は、多くの人を魅了した。「人材の発掘事業」の成果であり、高く評価する。		
活動内容－2	サークル活動の学習成果を生かす場の拡充	達成度	A
点検・評価 （課題等）	<p>○芸能まつり（大雨災害により中止） ○学習発表会 ○記念文集の発行（サークル活動紹介含む） ○かみこあに太鼓フェス2017</p> <p>芸能まつりは残念ながら大雨により中止となったが、各サークルには学習週間や学習発表会の場で、日ごろの練習の成果を披露していただいた。また、今年度新たな取り組みとして、村内各サークル等の活動紹介を記念文集に掲載し、多くの人へ学習の成果を周知できるよう努めた。</p> <p>太鼓フェスは和太鼓保存会鼓響の発表の場となるとともに、村外太鼓団体との交流を深める場となっている。サークル活動等にとって、同様の活動に取り組む村外団体との交流は非常に有益な場となるため、今後太鼓に限らず様々な団体と協議をして、事業連携や交流の場を模索したい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	記述しているサークル活動の対応は評価できる。		

(事業名) 伝統文化・伝統芸能の継承

活動内容－1	公民館、地域、学校等の連携による郷土芸能継承活動の充実	達成度	B
点検・評価 (課題等)	<p>学校の授業として地域の協力により伝統芸能継承活動が活発に行われている。ふるさとフェスティバルや学校祭で披露するなど活躍の場も多い。</p> <p>課題としては、地域の担い手が不足している八木沢番楽の継承であるが、講座等を開催しても申込者がいないため、次年度は村外を含めた募集を予定している。現在中学校までの活動は実施できているため、高校生以上にもどのように継承活動へ参加してもらうかを、公民館や地域が一体となって検討する必要がある。</p>		
評価委員の 意見・評価等	記述している授業は、事業名の伝統文化・伝統芸能継承活動として評価できる。		
活動内容－2	郷土資料の収集、活用の充実	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>学習センター郷土資料室は郷土資料部会のご協力により整理され、見学しやすい環境となっている。また資料室を利用した学習活動では郷土資料部会委員が講師となって説明していただくなど、授業への活用もなされている。</p> <p>地域センター体育館へ保管している大型の郷土資料については、今後部会と協議の上、展示や整理をする必要がある。</p>		
評価委員の 意見・評価等	郷土資料の保管、整備など継続した活動は評価できる。課題事項にも着手していただきたい。		

(事業名) 生涯スポーツ等による健康づくり

活動内容－1	スポーツ団体等の育成・支援	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>総合型クラブ「スマイル」は活動回数も多く、公民館の社会体育事業も受託するなど、村の生涯スポーツの中心として果たす役割は大きい。体育協会やスポーツ少年団、スポーツ推進委員が連携した体制となるよう、今後も活動を見守り、支援を継続する。</p> <p>スポーツ少年団については団体競技の人口が減少しているものの、活発に活動が行われている。指導者についても地域人材を活用して取り組んでおり、活動を見守りながら必要に応じた支援をしたい。</p>		
評価委員の 意見・評価等	生涯スポーツ等による健康づくり活動が活発に行われ、またスポーツ団体等の育成、支援に努めており評価できる。		
活動内容－2	各種社会体育関連行事の開催(総合型クラブ事業含む)	達成度	A
点検・評価 (課題等)	<p>○チャレンジデー 2017in 上小阿仁(5月31日) 前回は引き続き参加率 65%以上を達成(66.1%)し、4回目の挑戦にして相手の自治体にも初勝利することができた。チャレンジデーの認知度が上がってきており、今後はチャレンジデーの後も健康づくりが続くような施策が求められる。</p> <p>○秋田 25 市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン! 男鹿大会 男鹿市での開催であったため、1泊2日のスケジュールで選手及び保護者にご参加をいただいた。競技は惜しくも村の部4連覇とはならなかったが、高校生・一般枠に中学生が出場するなど、控え選手を含めた全員がもてる力を発揮した。</p> <p>○その他の事業 総合型クラブスマイルの事業を中心に、バレーボール大会、綱引大会など各種恒例行事が実施された。健康づくりを目的とした事業については様々な課で取り組んでいるが、似たような事業も複数あるため、今後は住民が参加しやすいような効率良く連携した取り組みが求められる。</p>		
評価委員の 意見・評価等	年間事業計画による開催であり、評価できる。		